



毎度お世話になっております。株式会社シロクマです。7月の台風としては過去最強クラスと予測された台風8号が日本列島に上陸、その後の猛暑などまた厳しい季節がやって来ました。大きな天災の前では、個人でできる防御策には限界があるのかもしれませんが、できる備えをしっかりと、少しでも憂いのない日々を送っていきましょう。

今月のホット情報

新機構のホイップフック

ねじが緩んでもフックを回すだけ！締め直しが簡単に

生活の中の様々な場面で、大いに活用されているフック。ある程度の重量物を掛ける場合は、やはりネジでしっかりと取り付けるタイプが安心です。中でも筒状の本体にフタの付いたタイプは、すっきりとシンプルなデザインで、公共スペースなどでもよく見かけるものです。

しかし、取り付け後に時間が経過すると、ねじが緩んでガタつきが生じることがあります。こんな時にねじを締めようといくらフックを回してみても、通常はねじの頭もフック本体のねじ穴も丸いため、引っ掛かるところがなく、空回りするばかりで、締め直すことはできません。本体のフタ部分を外して、ドライバーでねじを締め直すという手間が必要になってくるのです。

そこで登場したのが、シロクマの「ホイップフック」！六角頭ねじを採用、フック本体のねじ穴も六角形にしたところがポイントです。本体を手前に引きながら、締め付け方向に回せば、六角形の角が引っ掛かるため、ねじも共回りし、簡単に締め直すことができます。つまり、本体のねじ穴がソケットレンチやスパナのような役割を果たすというわけです。この新機構で設置後のメンテナンスがとても楽になりました。

取り外す時も本体を手前に引きながら、締め付け方向と逆に回すだけなので、ドライバーは不要です。ABS樹脂製。アイボリー、シルバー、クロームの3色がそろいますので、シーンに合わせてお選びください。



| カラー | 価格(税別) | 入数 |
|-------|--------|----|
| アイボリー | 280円 | 30 |
| シルバー | 380円 | 30 |
| クローム | 480円 | 30 |



セミナーレポート

マネー資本主義の欠陥を補う里山資本主義で心豊かに



「里山にはお金に換算できない価値が眠っている」という視点で、「里山資本主義」をとる地域エコノミストの藻谷浩介氏(日本総合研究所主席研究員)。里山や離島に眠る金銭換算すると無価値と思われる資源を生かすライフスタイルの提唱には、ちょっと興味深いものがありました。

藻谷氏が示す「お金に換算できない資源」とは耕作放棄地や立ち木、半端モノの農産品、退職者、野獣など多岐にわたっています。これを資本として生かすと、自給+物々交換が可能になるということですが、決して自給自足の田舎暮らしを勧めているわけではありません。

里山に住む人と人間関係を結ぶことで、ある程度の水や食糧、燃料などを入手できるようにしたり、いざという時に都会から一時避難できる場所を確保するなど、「善意と資源とお金の循環で安心・安全を増やす」ことを提唱しています。里山資本主義は「マネー資本主義の欠陥を補うサブシステム、言わば保険のようなもの」という位置付けです。

自営の店で買い物をし、経営者と仲良くなっておく、特定の田舎に通って産品を買い、絆をつくっておく、少し進むと庭などで作物を育てて自家消費したり、物々交換を行う、さらに特定の田舎に田畑を持ち、セカンドハウスを造るetc. リスク管理の一つと言えそうですが、そこにはもっと心穏やかに、心豊かに暮らすためのヒントがあるのかもしれない。